

# 読

Yomiuri  
Nippon  
Symphony  
Orchestra

# 響

クラシック音楽は、  
こんなにもカッコイイ。

## Rhapsody in Blue

昨年ニューヨーク・フィルとの共演で絶賛され、  
国際的に活躍するジャズ界の鬼才

### 小曽根 真

Piano: Makoto Ozono (ピアノ)

ベルリン・フィルにデビューを果たし、  
欧州で注目を浴びるフランスの俊英

### ルドヴィク・ モルロー

Conductor: Ludovic Morlot (指揮)

## Daphnis et Chloé

ガーシュイン: キューバ序曲

GERSHWIN: Cuban Overture

ガーシュイン: ラプソディ・イン・ブルー

GERSHWIN: Rhapsody in Blue

ドビュッシー: 牧神の午後への前奏曲

DEBUSSY: Prélude à l'après-midi d'un faune

エネスコ: ルーマニア狂詩曲 第1番 イ長調 作品11-1

ENESCU: Romanian Rhapsody No. 1 in A major, op. 11-1

ラヴェル: バレエ音楽「ダフニスとクロエ」第2組曲

RAVEL: "Daphnis et Chloé", Suite No. 2

読売日本交響楽団 第208回 土曜マチネーシリーズ  
Saturday Matinée Series No. 208

2018年 7月28日(土) 14時開演  
東京芸術劇場 コンサートホール (池袋)

Saturday, 28th July 2018 14:00 / Tokyo Metropolitan Theatre

¥7,500 ¥5,500 ¥4,500 C SOLD OUT

読売日本交響楽団 第208回 日曜マチネーシリーズ  
Sunday Matinée Series, No. 208

2018年 7月29日(日) 14時開演  
東京芸術劇場 コンサートホール (池袋)

Sunday, 29th July 2018, 14:00 / Tokyo Metropolitan Theatre

¥7,500 ¥5,500 ¥4,500 C ¥4,000

お申し込み・お問い合わせ

読響チケットセンター 0570-00-4390

<http://yomikyo.or.jp/>

(10時~18時)

主催: 読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビ、読売日本交響楽団

共催: 東京芸術劇場 (公益財団法人東京都歴史文化財団)

助成: 文化庁文化芸術振興費補助金 (舞台芸術創造活動活性化事業) | 独立行政法人日本芸術文化振興会

# フランスの俊英×ジャズの鬼才 変幻自在のリズムと音色が彩る休日の午後

ジャズ界とクラシック界を股にかけて活躍する鬼才・小曽根真が3年ぶりに読響に登場、得意のガーシュイン「ラプソディ・イン・ブルー」で会場を沸かせる。小曽根は昨年11月、ニューヨーク・フィルの定期演奏会に招かれ、この曲を披露した。3日間のチケットは全てソールドアウト。連日満員となったリンカーン・センターの聴衆から大喝采を浴びた。ニューヨーク・タイムズ紙も「クラシックのテクニックとジャズの自由な表現を存分に発揮し、新しい音楽世界を見せてくれた」と絶賛した“おはこ”が、今度は東京の夏を熱くする。クラリネットのグリッサンドが響き出せば、魅惑の“小曽根ワールド”の幕開けだ。

指揮台に立つのは、昨年ベルリン・フィルへのデビューを飾ったフランス出身のルドヴィク・モルロー。世界各地で活躍する俊英が、フランス近代音楽を代表する二人の作品などを取り上げる。

メインはラヴェルのバレエ音楽「ダフニスとクロエ」第2組曲。鳥のさえずる壮麗な朝やけが精巧なオーケストレーションで描かれる〈夜明け〉、フルートが牧神の笛の音を美しく模す〈無言劇〉、脈打つようなリズムが迫力のフィナーレを築く〈全員の踊り〉の3曲が、耳を引きつけてやまない。陶酔的な世界にどっぷりと浸かりたい。



**ルドヴィク・モルロー (指揮)**

Ludovic Morlot, Conductor

©Brandon Patoc

昨年ベルリン・フィルへのデビューを飾ったフランスの俊英。1973年フランスのリヨン生まれ。2012年から14年までベルギー王立モネ歌劇場の首席指揮者を務め、11年からシアトル響の音楽監督の任にある。これまでにロイヤル・コンセルトヘボウ管、シカゴ響、ニューヨーク・フィル、ウィーン響、シュターツカペレ・ドレスデン、フランス国立管、チェコ・フィル、バーミンガム市響などに客演したほか、12年にはサイトウ・キネン・フェスティバル松本でも好評を博した。今年3月にはシアトル・オペラにデビュー。8月には、BBCプロムスとエディンバラ音楽祭へ出演する。古典から現代まで幅広いレパートリーを誇り、デュティユーをはじめデイヴィッド・ラング、ジョン・ルーサー・アダムズら現代作品を積極的に演奏している。



**小曽根 真 (ピアノ)**

Makoto Ozone, Piano

ジャンルを横断しながら、ピアノの可能性を広げるジャズ界の革命児。1983年パークリー音楽大学ジャズ作・編曲科を首席で卒業。同年、米CBSと日本人初のレコード専属契約を結び、アルバム「OZONE」で全世界デビュー。2003年「VIRTUOS」がグラミー賞ノミネート。ゲイリー・バートンやチック・コリア、エリス・マルサリス、ブランフォード・マルサリスら世界的ジャズ・プレイヤーと共演。舞台・映画音楽も手掛け、クラシックでもデュオ、尾高忠明、井上道義らの指揮で、北ドイツ放送響、サンフランシスコ響などと共演。昨年、ギルバート指揮ニューヨーク・フィルとの「ラプソディ・イン・ブルー」で絶賛された。今年7月にはラヴィニア音楽祭にてシカゴ響と同曲で初共演する。文部科学大臣賞受賞、紫綬褒章受章。<http://makotoozone.com/>

このほか、ガーシュインがルンバにインスパイアされて作った「キューバ序曲」、夢幻の中でまどろみと恍惚が描かれ、本作から現代音楽がはじまったとも評価されるドビュッシーの傑作「牧神の午後への前奏曲」、ジブシー音楽風の躍動感あふれる旋律が印象的なエネスコ「ルーマニア狂詩曲第1番」という全5曲の華麗なプログラム。クラシック音楽の可能性を広げたバラエティ豊かな作品たちをお楽しみいただきたい。

読売日本交響楽団 第208回 土曜マチネーシリーズ

2018年 **7月28日** (土) 14時開演  
S ¥7,500 / A ¥5,500 / B ¥4,500 / C ¥4,000

読売日本交響楽団 第208回 日曜マチネーシリーズ

2018年 **7月29日** (日) 14時開演  
S ¥7,500 / A ¥5,500 / B ¥4,500 / C ¥4,000

東京芸術劇場 コンサートホール

東京都豊島区西池袋1-8-1 Tel. 03-5391-2111

●JR・西武池袋線・東武東上線・東京メトロ「池袋」駅西口より徒歩2分（※駅地下通路2b出口と直結しています）

【観客注意】東京芸術劇場には一時託児施設があります（公演1週間前までに予約）。わらべうた0120-415-306（予約受付：平日9時-17時）

【学生券】学生の方は、開演15分前に残席がある場合、¥2,000で入場できます（要学生証/25歳以下）。ただし席を選ぶことはできません。開演1時間前から受付で整理券を配布します。

【都合により曲目、出演者等が一部変更になる場合もございます。あらかじめご了承ください。】 ■未就学児童のご入場は、固くお断りいたします。

読響チケットセンター 0570-00-4390

\*10時-18時・年中無休

読響チケットWEB <http://yomikyo.pia.jp/>

\*座席選択可/チケット郵送料無料

プレイガイド

チケットぴあ 0570-02-9999

東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296